

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	15HP2033	事業期間	平成 27 年度～平成 31 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
発生生物学研究におけるアジア・オセア ニア地域からの国際情報発信の強化		日本発生生物学会	会長 上野 直人
学術刊行物の名称			(略称)
Development Growth & Differentiation			DGD

【平成 29 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>1950 年以来、DGD 誌は国際的にトップレベルの位置付けにあり、評価されている。執行役員である編集幹事が編集を担当し、編集委員の約 32%が海外の研究者で構成されていることも評価できる。経費支出についても特に問題はない。当該分野において、継続した事業実施を通じて、今後も世界各国との一体的な研究発展が望まれる。</p>	